



フォロー・レクチャー1

こうして、続かない人は英語を習得する!!

『英語で挫折したら、次にやるべき1つのこと』

藤永：は〜い、藤永です！みなさんお久しぶりです。

あの〜、またまた登場しました。（すみません、突然で）

なぜ、私が登場したかというと、前回、マイスキ動画をお送りしましたが、登録されている方々の中には英語を勉強したいんだ、習得したいんだという方々ばかり、たくさんいらっしゃいます。

しかし・・・

1ヶ月、2カ月、3カ月经って行くうちに、どうしても諦めてしまう、ギブアップしてしまう方もやはりいらっしゃいます。

では、なぜなのでしょう？

そこで、どうすれば解決できるのかということはどうしてもお伝えしたくて登場しました！

しかし、しかしです。1人じゃ寂しいですよ。ね。
こんなヤローが一人しゃべっていても面白くないと思います（笑）

そこで今回は私の知人になりますが、

ビジネスや自己啓発における講師や企業コンサルをされている先生とともに、常に海外に行かれている方ということで英語の実体験を交えながら、続かない人が英語習得するためのコツをお伝えしていきたいと思います。

それではお呼びしましょう。植草さんです、どうぞ。

植草：はい。皆さんこんにちは、藤永さんとよく仲良くしてもらっている植草と申します。よろしくお願ひします。

藤永：よろしくお願ひします。

植草：僕の方なんですけれども、結構もう付き合いは長くさせていただいて、ビジネス、自己啓発というところちょっと難しいかなと思う人もいっぱいいると思うんですが、

簡単に言うと、仕事していくにあたってどうやったら売上が上がるのかなとか、（英語を勉強する）皆さんと同じでビジネスも結局継続しないと売上が上がっていかないので、

藤永：そのとおりです。

植草：まあ、どうやって継続して売上が上げていけるのかをコンサルティングさせていただいている仕事をしているんですけども、そんな感じで先生業、講師業もしているのも、もしかしたらお役に立てるんじゃないかと、

藤永：いや、もうねえ～、英語だけという枠じゃなくて、継続するってもの凄く大変なことなんですね。

大変なんだけど、実はちょっとしたことでスムーズに行くということがビジネスだけではなく、もちろん英語だけでもなく、色々な世界で通じることなので、そういうのを共有できればなと思います。

藤永&植草：ということで、よろしくお願ひします。

藤永：実際、海外に行かれているということなんですけど、どちらの場所へ行かれるのですか？

植草：今は、月に1回だいたい1週間から2週間くらい海外に滞在してまして行っている場所としてはハワイ、オーストラリア、カンボジア、ベトナム、シンガポール、ドバイ、タイ、マレーシア、フィリピンなどこの辺りですね。

藤永：羨ましいでしょ？

やっぱり、どこも英語が必要とされている所ですよ。

植草：そうですね、やっぱり必要で。ただ、ほんとにビジネスというふうになんか難しく考えなくても、海外に行くだけで自分の凝り固まった日本人という先入観から解放されてかなり自由に、思考の幅が広がるというのがやっぱり英語が話せていいなと感じますね。

藤永：そうですね。

みなさんもそうだと思いますが、海外旅行を経験された方などもたくさんいらっしゃると思いますが、その時感じたことというのが世界って広いなあとか、日本ってこうだったんだ、こんなに違うんだという気づきがいっぱいあると思うんですよ。

だから、海外に行くことでそういう視野が広がるというのが確かにあります。これは共通していると思います。

植草：あとはやっぱり話すんだというみたいな自分の殻みたいな世界が与えてくれる自分が発信していける・・・

藤永：まさしく、そうなんですよ！

結局、日本人というのはどうしても受け身なんです。海外の方というのは自分の自己主張がもの凄く強いんです。どうしてもそこでコミュニケーションというのが日本人は続かないんですよ。

だから、そのツールとして英語があるというふうに僕は常に思っているんですが、ただ海外に行くことに一番大事なことでいうのはやっぱり海外を肌で感じる、異文化を感じる、ことだと思うんですよ。

英語を話すんだ、話すんだと皆さん焦りがちなんですよ、実は。

英語を話せば何でもできる、何でも体験できるではなくて、実はそこが一番重要じゃなくて異文化を感じる、これがもの凄く大事です。

それは日本にいても、今外国人が増えてきました。その方々と異文化交流することってもの凄く良いことなんです。刺激になります。だからそれが実際に海外に行って現地の方と話したいとかこれツアーで行くのは全く違いますから。

植草：おっしゃるとおりだと思います。僕も今海外行ってますけれど、僕の中でルールがあって、一人でいくことです。

藤永：すごいですね！

植草：ほんとにびっくりすると思うんですが、一人で行って、
一人で写真撮ってくるんですよ、今流行りの自撮り棒ですね（笑）

今こうやってスマートフォンで動画撮っていますけど、

藤永：はい、そうです。制作費、ちょっと削って（笑）

植草：制作費が削られているかは、それはちょっとわからないんですけども、
ほんとにこうやって持って自撮りでやってほんと一人で行くんですが、その
一人で行くというのがツアーで申し込まないんですね。

藤永：そうです、そうです。

私もいろんな方の相談を受けるんですけど、結構多いのが自分一人で海外に
行ってみたいんだと。ツアーに入らずに海外に行ってみようという方がもの
凄く多いです。

だから、その気持ちはものすごくわかるんですね。だから、それにはやっぱり
コミュニケーション能力というのがどうしても必要不可欠になってくるん
ですよ。

だから、私が言いたいのが、ただ単に英語を話すんじゃないということです。
そこを最終ターゲットではなくて、それをした上で何をやりたいか？

実はビジョンを持つこと一。

海外に行って話すということが皆さん多くの方が目標だと思うんですけど、
そこで自分が何をしたいかというのもこれも一つの目標設定ではあるんです
ね。

植草：なるほど、なるほど。

まあ、ちょっといま後ろの画像（スカイダイビング）に映っているんですが、
これマイスキ英語さんっぽくて、英語へのイメージを絵にするとこういうふう
になるのかと思うんですが、マイスキ英語で情報を見ている方というのは、
こういう感じなんですけど

藤永：そう、自由になりたいとか、羽ばたきたいとか。
あと、それにはどこにも国境がないわけじゃないですか。
どこでも行けるという。

じゃあ、その英語っていうのは、やっぱりどこでも行けるというのは
武器の一つなんですよ。

だから、英語というのは皆さんに本当に身につけてほしいんです。

さきほど言ったように、自分から表現することを海外に行って発信してほしいなど。

なぜかというと、日本の文化というのはもの凄くいいものがたくさんあるですよ。

植草：そうですね。

藤永：それを自分の言葉として相手に伝えてほしいという想いが強いんです。

ただ、それもさきほど冒頭でお伝えしたように、どうしても英語が続かない…。

英語を習得したくても続かないということが起きてしまうので、じゃあ、何をやったらいいんだろうという方が多いかと思います。

それをじゃあこうしたらいいんですよというのを、私もいろんな方の相談を受けているので、そこでみなさんにもお伝えできたらと思っています。

植草：なるほど。確かに日本人って…、実は僕まだ若いっていうと

藤永：いや、若いです

植草：自分でそういうこと言うなという感じですが（笑）

まあ、今30歳なんですけど、何が言いたいかというのと、年配の方はもしかしたらそうかもしれないんですけども、今の若い人達は、日本人であるということを実感したことってあんまりもしかしたらないかなあと思っています、

実は僕、海外に頻繁に行くようになって一番思ったのは、自分は日本なんだって思わされたんですね。

藤永：そういうことですよ。

植草：これは実は大きなこととかいうか、例えば、ちょっとアジアの近隣とかに行くと、日本人だと優遇してくれるわけですよ。

ですが、中東の方やヨーロッパに行くと日本人の方が少ないんですよ。

日本人が少ないというのは、例えば「おまえは中国人か？」とか聞かれるんですよ。

藤永：あります、あります！

植草：だから、それぐらい違いがわからなくなっている場所に行く、いや僕は「I am Japanese.」って何度言ったかということと、

あと、やっぱり若い人とかって日本の伝統文化とかそういうものに興味があんまりないと思うんですよ。
いや、僕もないんですというか、なかったんですよ。

藤永：いや、僕も若い頃ないですよ。

植草：けれども、海外に行って自分は日本人なんだと思わされれば思わされるほど、日本に帰ってきたときとか、向こうにいるときもそうなんですけれども、その日本の伝統文化や伝統芸能とか、そういうものを知ろうと思って、そういう意味でもやっぱり海外に行って、

藤永：そうなんですよ、

僕も実は、海外で人材紹介のお仕事をやってて、マレーシアでやっていたんですけども、日本人って重宝されるんですよ。なぜかという、勤勉さですね。

植草：なるほど。

藤永：これって、日本人しか持っていないものです。だから、重宝されるんです。

で、人材紹介やっていて、言い方悪いんですけど一番紹介しやすいのが現地人じゃなくて、やっぱり日本人。
これがものすごい企業がほしがっていることなんですね。

これを見てらっしゃる方でも、やっぱり将来海外で働きたいという方もいらっしゃると思うんですよ。

もうね、日本人であるだけで武器です。

時間に遅刻するとか基本的には許されない文化で育っていて当たり前のようになっていますよね。
それが実は海外では生きてくるんですね。

植草：なるほど。

藤永：で、仕事が終わるまで帰らないとか。
そういうことって海外では考えられないんです。

だから、これを見てらっしゃる方で海外に行って、将来仕事したいんだとか、今すぐにでも海外に行きたいという方でも、そういうところも皆さん発信できたらなあと思います。

日本人であることに誇りというのを持ってほしいなど。それもやっぱり海外に行かないとちょっとわからないところもあるんですけど。

植草：その点でいうと、海外行って凄いなと思ったことがあって、日本人のパスポートありますよね、これ、財産ですよ。

他の国のパスポートだと入れてくれない国ってあるんですよ。世界に出ると本当に日本人のパスポートって価値がめちゃくちゃ高くて、

藤永：だから、一番盗まれるんですよ。ものすごく偽造されるんですね。これは僕が海外にいるときに、一番高値は日本人のパスポートでした。だから盗まれるんです。だから、海外旅行行かれる方はほんと注意してください。

植草：いま、注意してくださいって話になっちゃいましたけど（笑）

本論は日本人のパスポートがすごい、行けない国がないんだ、これすごいチャンスで2万円位出せば日本人はパスポート持てるわけで、それ持って、例えばビザが日本人の場合いらぬ国もあるわけですよ。

藤永：あります、あります。

植草：だから、それぐらいチャンスはもう与えられているんだと思うと、逆に海外に行かない方がもったいないなど。

藤永：そうなんですよね。

だから、そのためにも英語というのが必要で、何度何度も言いますが、挫折される方がやっぱり多いんですよ。どうしても続かないという方がね。

何回も言います（笑）

それをじゃあ、次回詳しく、どうしたら続くのかを詳しく伝えて皆さんのヒントになればいいなと思います。

いや、やっぱり英語はいいやと諦めかけている方もいらっしゃるかと思いますが。

でもね、もう一度、情熱を呼び起こすことができるので、それをお伝えできればと思います。

植草：ちなみに、ちょっとでいいですけど…

藤永：そうですね…。

「●●」の再設定みたいな形ですね。

植草：「●●」の再設定をすると、継続ができるよ。

藤永：そうなんです。

植草：楽しみですね！

藤永：僕もスグ言いたいんですけど、ちょっと長々なるんでね、

植草：結構長くなるんですね…、わかりました。
では、その辺も踏まえて次回楽しみにしていただいて、

藤永：楽しみにしてください。

是非ね、無料でいつでも見れるんで。
まあ、ウザいけど見てみるかくらいで構わないです。
そんな感じで気軽に見てもらえればと思います。

それでは、また次回、
楽しみにしててください！

次回、フォロー・レクチャーの第2話では、

『超単純!? 「●●の設定」が英語マスターの鍵だった!!』 ～ほとんどの英語挫折者が見落としている落とし穴～

をお伝えします。

実は、英語が続かない人や再度英語をリベンジして、
英語をマスターしていくのに絶対に必要なことがあります。

その最も単純かつ、超重要な方法が「●●の設定」です。

おそらく、この答えを知れば、怒る人もいるでしょう。
でも、英語が続かない人ほど、絶対に簡単だけど必要なことなんです。
これをやらないから実は途中で挫折してしまいます。

それでは、次回もお楽しみに!!

【藤永丈司プロフィール】

何の対策もせずに初受験で TOEIC990(満点)、英検 1 級取得。小学校英語指導者資格、ニンテンドー3DS ソフト「TOEIC テスト超速トレーニング」スペシャルアドバイザー、芸能人への個別指導、英会話・TOEIC 講座、企業研修、他多数。

自身の受験英語への疑問や登校拒否といった苦い体験から、文法や暗記などといった従来の学習を 180 度違う角度から切りこみ、短期間で「英語回路」を身につけるメカニズムを発見。10 年以上にわたる海外生活から、外国人の英語習得の早さと相対する日本人の遅さの違いを同時に徹底的に解説・研究を繰り返すことで、日本人へ「英語回路」を植付ける仕組みを解明。

日本人には日本人独自の習得方法があることを見出し、母国語を自然に覚えるメカニズムに独自言語習得法と本来人間が持っている爆発的な潜在能力を融合する事でその効果を確実なものとしている。

主な著書にベストセラーシリーズ累計 10 万部『「超速」英語プログラム』『なぜ、留学生の 99% は英語ができないのか?』他多数。現在、2020 年までに 5,000 人のネイティブスピーカーを輩出し、英語を使って、世界で活躍できる日本人を後押しするビジョンに向けて、初心者で短期間でネイティブにする最短ステップをプログラム化し、多くの日本人に伝導している。